

伯刺西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado
No. 89
Caixa Postal H
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi
Assinaturas
por Anno 10\$000
Semestre 5\$500
Mez 1\$000
Semana \$800

兒童教育問題 (中)

前號に述べたるが如く、果して伯刺西爾に於ける日本人兒童教育の方針は、純然と當國教育令の下に、伯刺西爾式教育を施すに在り、補習教育として日本語を特殊教科書に據り、簡明に而かも徹底的に教うるを是とすべし、先づ第一に日本語の教科書編纂を爲さざるべからざる共に、彼のイグアベ植民地に於けるが如き公立學校、若しくはサントス市に於けるが如き公認學校を建設し、日伯兩教師を聘して之が教育の任に當らしめなければならぬ。

憲政會宣言を發表す

憲政會は今度の騷擾問題に關し發表したる宣言は其問題の内容を審かに語れるものあるを以て茲に掲載することにせり。

宣言

米價に關する騷擾は燎原の勢を以て全國各地に蔓延し範圍益々擴大して殆ど底止する所を知らず警察力を以て之を鎮撫する能はず遂に軍隊の出動を見るに至る而も人心は莫大の恐慌に陥るに至る。

マモーナ栽培

マモーナの收穫を多量ならしめんことを欲せば須らく其の根を深くすべし。根が充分深きときはマモーナは成育頗る旺盛となり隨つて大なる收穫を與ふることなるを以て播種するに際し出來得るだけ深く土地を掘り起すがよい、そして其の深さは大抵二十五センチメートルとして、マモーナの栽培に充つべき土地は勿論肥沃なれば結構であるが若し然らざる場合は肥料を施さねばならぬ、然しマモーナには年々々々施肥する必要はない、先づ四年毎に施肥をせよ。

戸籍届出方に就て (四)

帝國總領事館 成瀬 廉
前号で届出出生の方には終つたが、一回だけ後述したものがあつた。それは結婚成立後(婚姻は戸籍吏又は總領事、副領事が届書を受理した日に成立する)二百日以内に子の出生した場合は之は庶子の概念を得てからが宜からうと思ひ後述した。

社告

本紙購読料續々コム、ウアロール(現金封入便)にて御送付有之候處姓名及び住所御明記無之候爲め本社は當市郵便局より現金受取候儘にて其の送付者が何人なるや判明不致甚だ當惑致候候向多々有之候に就ては購読は續續と新申込とに不係コム、ウアロールにて御送金の場合は左記の事項御實行相成願上候也。

庶子出生届の雛形

出生届
本籍 東京市麻布區本村町壹番地
父 戶主成瀬太郎參男
母 戶主山出炭造四女工女
出生兒 庶子男 成瀬 次郎
出生ノ時 大正七年拾月拾日午
出生ノ場所 伯國サンパウロ市
コンテナルゼーダス
街壹番

伯刺西爾時報

子出生届とは私が便宜上付けた名稱であつて庶子なるものは届書の受理があつて初めて存するので恰度家督相続が開始せぬ前に推定の相続人被相続人を家督相続人及被相続人と假りに稱するのと同じことである。從つて父は本來庶子出生届の届出義務者として戸籍法上の義務を負ふことにはないが此の届は認知届との二つの性質を兼ね有するのであるから認知者たる父が届出ること當然であり且つ父以外の者は庶子出生届は出來ないものである此の點は嫡子出生届等と異なる特質である然らば父が届出たことが出來ない時はどうするか云々。是は何れ何れ何れ何れに一家を創立する旨を委しく附記すべきである。但し子が母の家に於ては其家の姓を稱するから前記雛形に於ては山出次郎となることに注意を要する。

讀者と記者

先輩が後進を導いて欲しい

記者足下 僕は今年移民として來伯した者でありますから、無論此の國の事情が能く判りませんが、常識で考へて見ても随分舊い人々の中にも伯國の習慣に背いたり、人として爲すべからざることもして居る様であります。之を一々實例を挙げて申せば數え盡せない程ありますが、悪いことは悪いとする其の人身自身も能く判つてゐるのでありますから、細かくは申しあげません、併し一人の間違つたことは萬人の顔汚しになるのでありますから、是非慎んで貰ひたいものであります。殊に新移民が如何に尋ねても録々教へても呉れず却つて悪いことを教へる様な者もありますから、今後こんな事のない様に時報で教へて頂きたいのであります。(愛同胞生)

衛生顧問欄

●問 小生は毎年雨期に入れば足部にフエリダを患ひ歩行も出来ざる事屢々これあり非常に困り候間之れが根治法御教示下され度御願申上候(困却生)

高岡醫師

●答 フエリダには色々種類があり一様には云へませんが割合軽い方のもので最初は小さな發疹として現れ、續いてそれが傷になり遂には一所に寄つて來て腫物見たいになり、腫れ痛みなどの爲めに歩行がなくなる事がある、こんなのは初めにクネオリーナと云ふ藥を湯に滴して足を暫時此中に浸けて置き、後ワゼリナ、デ、ポリコと云ふ膏藥を布に塗

サンタカーザ寄附者芳名並金額(第十九回)

- 和氣喜十郎 一五二ミル
西隈藤藏 一五二ミル
渡邊嘉平 一五二ミル
青木忠次 一五二ミル
同 萬次郎 一五二ミル
田中庄太郎 一五二ミル
西野卯一 一五二ミル
野中兼次郎 一五二ミル
千徳富太郎 一五二ミル
田中 文右衛門 一五二ミル
古賀 庄吉 一五二ミル
片山秋之助 一五二ミル
古賀元三郎 一五二ミル
同 伍平 一五二ミル
野瀬勘七 一五二ミル
木村文雄 一五二ミル
小幡孫六 一五二ミル
手島榮太郎 一五二ミル
小山田政雄 一五二ミル
大戸 森吉 一五二ミル
日比生 安太郎 一五二ミル
池田 平太郎 一五二ミル
田中 泰太郎 一五二ミル
西村 厚 一五二ミル
三上喜三郎 一五二ミル
宮尾讓三郎 一五二ミル
小林 九助 一五二ミル
近 藤 中 一五二ミル
入谷 常吉 一五二ミル
三村音三郎 一五二ミル
白井 介仁 一五二ミル
楠原増太郎 一五二ミル
前田忠三郎 一五二ミル
松永善吉 一五二ミル
村山寅吉 一五二ミル
谷口 廣松 一五二ミル
藤 善一 一五二ミル
上 久次郎 一五二ミル
西 久次郎 一五二ミル
阿 久次郎 一五二ミル
森 久次郎 一五二ミル
野村 峰夫 一五二ミル
新見彦太郎 一五二ミル
大森 納助 一五二ミル
片木榮次郎 一五二ミル
新見 音一 一五二ミル
同 秋松 一五二ミル

- 山田 一五二ミル
甲 松 一五二ミル
成 本 一五二ミル
藤 本 一五二ミル
福 島 若松 一五二ミル
平 山 市次 一五二ミル
嘉悦千代喜 一五二ミル
島本才太 一五二ミル
中尾忠太郎 一五二ミル
山本只一 一五二ミル
中佐宗次郎 一五二ミル
林田七平 一五二ミル
山本平九郎 一五二ミル
山口 軍記 一五二ミル
小 山 正 一五二ミル
瀧川省三 一五二ミル
下江重太 一五二ミル
福本光太 一五二ミル
川江隆次 一五二ミル
高橋 豐次 一五二ミル
松本 長右衛門 一五二ミル
伊藤庄太郎 一五二ミル
長澤 新吉 一五二ミル
赤井 常吉 一五二ミル
平松甚六郎 一五二ミル
木口竹三郎 一五二ミル
和氣峰五郎 一五二ミル
三宅榮次郎 一五二ミル
石井 泰吉 一五二ミル
岩本憲一郎 一五二ミル
水本仁太郎 一五二ミル
松本音松 一五二ミル
佐久間喜市 一五二ミル
大 橋 勇 一五二ミル
桑田馬太郎 一五二ミル
金藤菊次郎 一五二ミル
座木 琢磨 一五二ミル
原 百太郎 一五二ミル
坂本清次郎 一五二ミル
濱野寅吉 一五二ミル
右田 元八 一五二ミル
田川雄三郎 一五二ミル
村上金三 一五二ミル
吉川芳太郎 一五二ミル
山口彌次郎 一五二ミル
高 原 要七 一五二ミル
佐藤清一 一五二ミル
高橋善之助 一五二ミル
目黒 静 一五二ミル
佐野伊六 一五二ミル
山田 勝 一五二ミル
大内寅之介 一五二ミル
山田 良定 一五二ミル
山崎 憲夫 一五二ミル
大 枝 一吉 一五二ミル
高橋 麟太郎 一五二ミル
丸市 順太郎 一五二ミル
丸市 孫太郎 一五二ミル
黒羽 孫七 一五二ミル
菅野 新吾 一五二ミル
同 野 新吾 一五二ミル
菊地 安家 一五二ミル
上原 福次郎 一五二ミル
安本 甚吾 一五二ミル
金九留次郎 一五二ミル
樋口政次郎 一五二ミル
伊藤 兼吉 一五二ミル
井上 敏夫 一五二ミル
久保田 峰吉 一五二ミル
田代 勤吾 一五二ミル
矢野 伊作 一五二ミル
田代 善造 一五二ミル
木村 善造 一五二ミル
鹽 塚 甚一 一五二ミル
大内 定治 一五二ミル
橋本彌治郎 一五二ミル
中山 幸雄 一五二ミル
山田 幾三郎 一五二ミル
佐藤 壽平 一五二ミル
田中 守吉 一五二ミル
土手 盛雄 一五二ミル
岡崎 壽三郎 一五二ミル
安齋 故美 一五二ミル
溝岡 佐司馬 一五二ミル
佐藤 安治 一五二ミル
廣瀬 増太郎 一五二ミル
千原 本吉 一五二ミル
隅屋 久太郎 一五二ミル

日本金兩替

●金貨多少に拘はらず兩替申上候
●ブラジル 語獨習
●發行所 秀英舎
●紙幣三百二十頁 送料共六ミル
●日本に於て最優等の本を採せしと未
●内容は單語大多數なれば初學者の爲
●には殊に便利なり、齒磨粉石鹼髮
●油等二十餘種到着仕候

カンブイ耕地

●新植付 本年植付さるべき珈
●琲樹数は六十萬本にして六年
●契約手入受負に應ず
●特 點 一年契約のコロノ
●には米豆唐黍の植付に適應す
●土地を好み次第に貸與し又獨
●立農夫に對しても無償にて且
●無制限に宏大なる沃地を供す
●概 況 當耕地は二百萬本の
●珈琲樹を有し、總面積二萬六
●千アルケルを占め耕地内を
●横斷する鐵道は十二驛を以て
●通ず、目下百六十餘の日本人
●家族あり
●一 度當耕地に來つて同胞諸
●君に問合はば農夫の爲め有ら
●ゆる有利條件を提供しつゝあ
●るを知る可し、即最良の氣候
●運搬の便、穀物耕地のため供
●給すべき無限の土地生産力旺
●盛なる齡六七年の新珈琲樹園
●毎二月の全額定支拂、收穫
●物賣却の自由等を目撃すべし
●詳細は左記へ問合され度し
●Guido Traballi,
●Fazenda Cambui
●Matiao

土地

●最良土地を最良條件の下に賣却す
●希望の者には明細書(邦文)送付すべ
●ければ左記へ照會あれ
●代理人 矢崎 節夫
●Villa Costina L. Mogyuma
●コステリーナ
●土地殖民會社
●Dr. Labieno da Costa Machado
●R. Barão Irapetininga, 13A
●S. Paulo

經濟の大關

●丸西徳用醫油
●瓶代共一ミル四百レリス
●醸造所 西野 嘉市
●販賣所 遠藤常八郎
●Rua Conde de Sarzedas 65 S. Paulo

新荷着

●土佐片地黒打上等品
●尺八寸十八ミル、二尺二寸二ミル、二
●尺二寸二十六ミル、二尺四寸三十三
●尺、二尺六寸三十五ミル、二尺八寸四
●寸、二尺十寸三十五ミル、二尺十二寸
●二十四ミル、二尺四寸二寸送一枚に付
●一ミル、二尺四寸二寸送一枚に付一
●ミル、備中クワ上二ミル、備中クワ中
●八ミル、鎌(カマ)三ミル、五五、二枚カ
●ナナミル、ワキ取り五ミル、大工鋸
●同横八寸三ミル、同立尺十二ミル、管
●鋸尺一寸三ミル、土佐鋸組十二
●ミル、差金銀六ミル、土佐鋸組十二
●ミル、前丁、鋸付付十ミル、前丁ナ柄櫻
●四ミル、墨坪用ケツリ墨目入一袋
●銀ヤスリ一ミル、大ターミル五百、土
●工ヤスリ小七百大八百レリス
●大柄輪金大小〇割刀砥石七斤〇
●大柄砥石十斤(目方約五キロ)、〇六
●分、〇二斤五百レリス、〇金剛砂一
●袋五百〇其の他大工道具類各種〇大
●算盤八斤〇〇口紅〇白粉〇日本齒粉
●〇齒磨粉

木藤商會

●大澤醬油取次所 KIDO SHOKAI
●Caixa Postal 1466
●R. C. Sarzedas 51
●S. Paulo

録御送呈可仕候

●御一報次第販賣品總目
●陸稻もみ、同うるち、水稻う
●るち、夏そば、枝さや大豆穀
●物種子類、野菜類、花類全部
●百三十餘種新着仕候
●御一報次第販賣品總目
●録御送呈可仕候
●資本可仕候
●ブラジル時報市内申込所
●聖ルコ
●サルベンダス街五十一番

全國各地大騷擾

各地に亘る民衆の蜂起
投石破壊放火掠奪
破る所に行はる

十四日の東京
内務省が公表せし
十四日以来の事實

八月十四日午後六時より日比谷公園
其の附近に蜂起したる群衆は退散
を命ぜられて帝國ホテル前通に集ま
り其の數千人に達して山下橋より銀
座方面に出で商店に暴行を爲し一部
の群衆約七百名は芝鳥森吾妻屋旅館
其の他藝妓屋派出所等に投石したる
ものあり愛宕署に向ひたるも退散さ
れ一方淺草駒形劇場にては米價調節
閣臣彈劾演説會を開催の豫定な
りしも會場の使用を謝絶され開會に
至らず劇場附近に集まりたる三百餘
名は一團となり淺草公園に至り約三
千の集團となり別に暴行はせず
又吉原麻内には約千餘名の一團入込
みて附近の民家に投石し又日本橋箱
崎町四丁目三井倉庫附近に約一千名
の群衆ありて投石し又約一千の群衆
は淺草猿屋町某米商を襲ひ轉じて
南元町警察署に投石し其南千住通由
谷町淺草町附近にも約一千の群衆あ
り附近の米店を襲ひ内約五百名は南
千住に移り二三の米商に對し廉賣を
強請したる後大橋方面へ退散し白木
屋原商店附近にては各方面より集ま
れる群衆約四五團となりて江戸橋四
日市町兜町一帶を練歩き沿道七八ヶ
處にて投石し約四百名の群衆中新富
町某自働車店に暴行を爲したる者あ
り又約一千名の集團茅場町方面より
築地方面に向ひて沿道の商家に投石
し約五百名の群衆は三越呉服店前
より室町巡査派出所に押寄せ神田今
川小路巡査派出所にては約四百の
群衆同派出所の硝子戸を破壊し須田
町方面に向ひて銀治町松屋呉服店
に押寄せ投石し硝子戸を破壊し約五
六百の群衆は深川東町巡査派出所に
投石し何れも午前二時頃退散した

十五日の民衆

被害各所に多し

十五日は午後六時前後より日比谷公
園は約百人の群衆あり軍隊の出動を
見て退散せし七時頃には再び約三
百名許り群衆し間もなく日比谷交差
點附近より警視廳消防部前に停滞し
其の數約一千に達し漸次數寄屋橋方
面に向ひ益増加して約一萬を算し築
地方面に向ひて警視廳、逓信省、農商務
省等に多少投石し硝子戸數枚を破壊
したる後徐々銀座方面に引返し尾張
町より有樂橋方面へ退散したり別に
上野公園附近は午後八時より廣小路
一帯に約一萬の群衆あり沿道の店舖
に投石し或は自働車に進行を妨害す
るものあり一部は神田方面
に流れ小川町停留場附近にて暴行
を始める約三百名は本郷切通坂を
上り民家數戸の硝子戸を破壊し午後
十二時を過ぎるも黒門町附近には頑
強なる一團ありて容易に解散せず五
六十名を檢束されて漸次退散せり右
の他淺草公園池の端より吉原土手ま
で約五六千の群衆は一鏡亭と小松橋
で約五六千の群衆は一鏡亭と小松橋
を包圍して投石し千住大
橋外天王山境内白米販賣所に約一萬
の群衆ありたるも十時頃より解散し
本所押上にて千餘名の群衆あり米屋二
軒に暴行し夫より富士瓦斯紡績會社
に至り投石し神田小川町にありし三
四百の群衆は淡路町巡査派出所の硝
子戸を破壊し内藤新宿町三の四〇白
米商坂田源太郎方に五六十の群衆
入込みし直に解散し數寄橋にあり
たる約二千名の群衆は演説會開敷こ
を言ひ午後十一時には四谷區内に
約一千の群衆を生ぜし別に暴行せ
ず麻橋附近には約百名の群衆ありて
電車に投石し本所梅森町附近にては
米屋に一升二十錢の貼紙を爲し硝子
戸を破壊したる者あり午後十一時四
十分寺島村米商長崎某方に約三十名
の群衆ありし店頭に本日より日本
米廿五錢に賣却の貼紙ありしを發見
し凱歌を奏して引上げ午前一時半全
く退散したり

十六日の東京市

各區に群衆す

戒を嚴重にし野口警務長指揮の下に
約二千名の正私服巡査は各署長に統
率されて目抜きは二個大隊の軍隊出張
衛一聯隊より二個大隊の軍隊出張
向島の各所を警戒せしが群衆は午後
九時頃より各所に集集し日比谷公園
音樂堂前に約二百名本所松代町附近
に約三百名押上電車終點附近に約一
千名位の集團を作りて一時往來止め
の姿なりしも暴行に出でたるものな
く上野公園前には廣小路を中心とし
て附近一帯に約九千餘の群衆氣勢を
あけて投石し爲に約三十名の檢束者
を見るに至りしが大した騒げとなら
ずして午後十一時五十分鎮定し同所
を衛する上野、元富士、表町各
署の警備隊は何れも持場を引揚げ尙
十時頃淺草公園に約二千、萬世橋附
近に約二千、四谷荒木横町附近に約
一千名の群衆あり押上にありし五百
餘の集團は漸次千住方面に向つて氣
勢をあげしが幸に暴行するもの少く
今晚二時頃に至りて何れも解散せり

靜岡縣の放火

十四日靜岡市にては午後七時頃より
群衆數百人に集まり遊廓を襲ひて十
二戸を破壊し數圓に分れて市内各所
の米屋を脅かし家屋を破壊し出金を
迫れり午後九時五十分遂に出兵を要
せり江尻町に於ける群衆は九時頃
米屋に放火して附近三戸を類焼せし
一隊は入江村に他の一隊は清水町
に至りたるも軍隊の力にて解散し濱
松市も同様群衆數百人を襲ひて納屋に
放火せしが直に消止め又小笠原大須
賀町にも午後八時三十分多數群衆し
米屋を打壊し、十五日は靜岡市江尻
町にも平穩なりしが藤枝見付金谷燒
津三ヶ日掛川の各町村何れも數百の
群衆破壊放火を爲し軍隊を出動せ
しめ濱松市は數千の群衆旅館一戸を
破壊し十五日夜小笠原掛川町の群衆
は二手に別れて富家を襲ひしも十六
日午前三時頃解散し見付町は群衆千
名米屋を襲ひ家を焼く寄附金を強奪
し警察署をも打壊し藤枝町の群衆は
廿六七軒の有力者を襲ひ家屋數個を
壊し燒津町は米屋十軒餘打壊された

大阪府の掠奪

十四日夜大阪府は外出禁止の府令を
發し各新聞は號外を發行して市民に
配布し其の上八時より電車を中止し
たるため以來十五日に至るまで極め
て靜穩なり泉南郡岸和田町字南に約
三千の群衆あり夜九時四十分民家二
個處に放火し二戸全焼一戸を半燒尙
町内の米屋を襲ひ掠奪を始めしため
軍隊救護して漸次解散し十五日午前
五時鎮靜し同夜十一時には泉南郡佐
野町に數名の群衆米屋を襲ひ戸障子
等を破壊せし其の後の市郡は平穩
なり

兵庫縣の群衆

十四日夜九時頃淡路川新開地に約千名
の集團あり解散の命令により大部分
は散會したるも三四百名ばかり淡町
の巡査派出所を破壊しつゝ漸次退散
せり尙三四の小集團ありたれども何
れも程なく解散したり十四日朝來尼
ヶ市に險惡の兆あり第十師團と高槻
工兵第四大隊より軍隊を派遣し警備
の任に當りしが午後八時頃約五六百
名の群衆約二十戸の酒商を襲ひ九時
五十分に至り解散せり明石町も十四
日朝來險惡の兆を呈し第十師團の兵
に警備を依頼したる爲の同夜は遂に
平穩に過ぎたり神戸市尼ヶ崎市明石
町ともに十五日夜は平常に復せり
(以下次號)

寄附金

三井岩崎兩家其他備出
三井岩崎の兩家及び根津嘉一郎、増
田貫一、金子重純の三氏は米價空前
の暴騰の爲多數市民が生活の上に非
常の不安を感じつゝある現狀に同情
し八月十二日午前十時東京府へ救濟
費として左記金額の義捐金を申出で
たり

Table with 2 columns: Name and Amount. Includes 三井岩崎 三, 岩崎 三, 日本銀行 三萬五千圓, etc.

62 録習講語ルジラブ
Eu o acho; Acho que sim; Penso que sim; Creio;
Acredito; Assim penso eu; Julgo que sim;
先づ此れ位い辨へて居れば充分である。[私も亦そう思ふ] Assim
penso eu tobehi. はである
[私はそう思はない] の場合には
Não o acho; Acho que não; Penso que não; Não
creio; Não acredito.
3. [ほんごにそうです] [慥かに然り] など云ふ返辭には
De certo; Tenho certeza disso; E' o mesmo;
E' isso mesmo; Certamente; Com certeza.
確定の意を一層強めて [請合です] などの返辭には
Palavra!; Palavra de honra!; Juro-lhe; Sob minha
palavra; Com toda crteza; Aposto que sim; Sem
duvida; Sem menos duvida; Palavra de Deus!
等の句がある。Juro-lhe はあなたに誓ひます。Aposto は私は賭
をするの意。Palavra de Deus! は聖書のことなれど[誓つてそう
です] の意を示す。此句を用ふるは余り上品にあらず
此等の句は就も強き肯定の言葉なれど場合に應じて 其適當なる句
を用ふるものとす。此の反對即ち否定する時には
Não o creio; Nada disso; Não é verdade; Duvido;
E' uma historia; Está enganado.
4. 謝禮の言葉にも種々の言ひ方があつて感謝の情切なる時は之
ふに相當する言葉を用ゆべきである。次に簡單なるものより順次に
示せば
Obrigado (男の言ふ場合); Obrigada (女の言ふ場合);
Agradecido(男); Agradecida(女); Muito obrigado-a;
Muito Agradecido-a; Agradeço-lhe muito; Sou
muitissimo obrigado; Fico-lhe muito obrigado;
Agradeço muito por sua bondade.

64 録習講語ルジラブ
1. Eu cheguei ao Brazil com doze annos, isto é, quando
era criança.
私は十二歳でブラジルへ來ました言ひ換ゆれば私の
子供の時に來ました
Bahia; que é minha terra, é o lugar quente.
私の故郷のバヒアは暑い所です
travessão (—)
I Virgula (,) は句讀する時に少時の休息をなすべきを示し其用法
の主なるものは下の如し
1. 文章中に並んで置かれたる同格の單語を離す爲め
例 Taro, Jiro, Saburo e Shiro são irmãos.
太郎と次郎三郎と四郎は兄弟です
Tenho dois livros, um canivete, tres penas e um tinteiro.
私は本を二冊。ナイフ一挺。ペン先き三本とインキ壺一箇
を持つて居ります
Esta casa é grande, alta e bonita.
此家は大きく高くそして美しい
2. 各別々の事柄の文句を一文章中に配列するに用ふ
例 Elle esteve aqui, jantou comosco, jogou o burrelho e foi prar
casa. 彼が此處に來て私共と夕食を食しトランプを遊んで
而して家へ歸りました
3. 呼び掛けの語を他と分離する爲め
例 Diga, meu amigo, o que pensa. 君思ふ所を言ひ給へ
4. 同格の二名詞又は代名詞などを分離する爲め
例 Taro; alumno do 10. Grupo Escolar,
第一小學校の生徒なる太郎は利口です
João, filho de Antonio, é maleriado.
アントーニオの子のジョアンはいたづら者だ
5. 日附を記す時に場所の名前と離すに用ふ
例 S. Paulo, 19 de Outubro de 1918.
6. 文章の中に説明句を入れる時に用ふ

敵の根據地ハバロフスク市を奪ふ

烏蘇里河上の敵を掃蕩しつゝ、同河に沿つて北進中なりし我が第十二師團は若干のチエツク軍及び英佛軍を伴ふて長驅敵の根據地ハバロフスクに迫り歩騎兵を放て黒龍江を渡り東南西南の三方面より同市を包圍して昨未明より總攻撃を開始し激戦數時間の後遂に同市を攻略し無線電信所、停車場其他の重要建築物を占領し敵の黒龍江艦隊を全滅せしめ同江上に在りし砲艦十四隻運送船四隻を捕獲したり

敵は黒龍江の沿岸に據り飽くまで抗戦繼續と決議す

沿海州の赤衛軍及び獨逸軍はハバロフスクの巢窟を覆へられたる爲め黒龍江を遡りて西方に退却したるが黒龍州首府アラゴベツチエツク市の過激派領袖等は獨逸軍の頭目連と右敵の善後策に就き熱議したる後大會を開き同市に極東過激派の本拠を置き飽くまで露國干渉の日本軍チエツク軍及び聯合軍に對し抗戦すべしとの決議を爲し黒龍州一帯の過激派に右の決議を通告したり

天長節祝賀會

豫報の如く去る十二日夜當地日本人青年會場に於て来る三十一日天長節祝賀會に關し市内同胞有志相談會を開きしが出席者二十四名にして本年は内外の事情に鑑み最も質素に祝意を表することに決し青年會幹事の外更に十一名の委員を選び夫れ々準備することに成りたり

- 祝賀式 午後一時半
國歌 君が代二回
祝詞 萬歳三唱
運動會 開始
- 運動會
- 一、徒步競走
 - 二、二人三脚競走
 - 三、女子豆拾ひ
 - 四、旗取競走
 - 五、大正小學校生徒演取競走
 - 六、長距離競走
 - 七、ボート競走

會場

アクリマソン公園
(電車はラルゴ、ダ、セーより十五分間毎に發す、電車番號二十八番)

- 當日は晴雨にかかはらず開會す
- 入場隨意
- 會費二名ニミル (菓子券、酒券引替)
- 酒券、菓子券は當日求むるも差支なし、尚ほ酒、菓子等は式後配布す
- 餘興として運動競技、ボート競漕あり

天長節祝賀會順序

開會 午後一時

伯國日本人青年會

伯國日本人青年會の夜の外は危險
夜學校教育の夜の集り
は其筋より差止めらる

流行感冒の猖獗

破滅せんと意氣込んで居る。
無論此の大計畫を遂行するには前居る即ち彼等は未だ土着の國土は有途幾多の難關がある。イルクツク以ては、形而上既に獨立國家を組織するに於ける五六萬の後進部族を捕縛せんと同様で、委員長マツツクに輸送することにすら、種々の故障博士は無形共和國の大統領と見做すが生じて計畫の如くならざる今日べきものである。雄大な彼等の獨斷の海上輸送は、一人當三噸とする此の大事業に對し何等視聽を動かす難い事業でない、更に又太平洋洋面に至る迄、日本國民は殆ど知る處なく九十九噸の船隻を要する譯で、目處なきもの、如くであるが、今や彼等の海運状態を以てすれば殆ど不可等の一部軍隊は捕獲を占領し、西伯利亞の形勢は意外の急轉を來し、船の業である、又米國に於ける同盟民族の義勇軍組織にも、夫々困難の伴輸送に關し交渉すべく、同國民議會委員フルバン氏一行六名は最近日本に來つたのである、加ふるに今春東京を經由して渡米したマツツク博士は、今や米國に在つて極力此の運動に従ひ、我が帝國は此の運動を援助すべく兵を捕獲に出すこと、なると民族獨立運動は世界的にも又極東的にも極重大なる意義を帯び來つたのであるが、歐洲大戰は獨の軍議會の本部を設け、倫敦、紐育、羅馬、露都其他重要都市に支部を設置し、同民族中の先覺者たるマツツク博士其の委員長となり、幹部委員の顔

石油の品切れ

石油の品切れ
昔に返へる今の世の中
物價調節令が發表され石油は一鑽十

神谷氏近く來聖

神谷氏近く來聖
プエノス、アイレスよりの來電に依れば海外興業會社專務取締役神谷忠雄氏は昨十七日プエノス發海路リオに至り来る二十三日頃來聖の豫定なり

飯野氏來聖

飯野氏來聖
大阪商船會社プエノス、アイレス支店の飯野佐一氏は山内主任経理出張中何れも一手にて取捌き非常な繁忙の中先週は又社用を以て來聖せられたる處目下流行のインフルエツザに取付かれサントス港出張中急に發熱今朝は同港に靜養中なるが聞く處に依れば昨今殆ど全快の様子なり

讚岐丸入港は来る二十五日

讚岐丸入港は来る二十五日
去る十三日ケープタウンよりの電報に依れば移民滿載の「讚岐丸」は無事ケープタウンに寄港来る二十五日サントス入港の豫定なり

バナム丸明日出帆

バナム丸明日出帆
大阪商船會社のバナム丸は去る十三日サントスに入港現其他の船荷を日サントスに同港出帆北米某港に向ふ由終へ明日同港出帆乗客一切お断りなるが今限り乗客一切お断り

人事來往 イグアベ補民地技師藤田克巳氏十四日出聖本日歸樞の途に就く等、バルボア耕地監督坂東喜内氏十三日出聖十七日歸樞、海外興業支店長田口道造氏、醫師高岡專太郎氏は去る十五日バナム丸訪問の爲めサントスへ赴き同日歸聖、移民組合支店長村谷三三氏は昨日飯野佐一氏の病氣見舞としてサントスに赴き本日歸聖、翁長助成氏ジュキヤ線視察を終へ十六日歸聖、屋比久孟徳氏縣人會の事務を帯びマツツク方面へ向ける二十日出發、原口七郎氏昨日耕地へ出張

地方會員諸君へ

地方會員諸君へ
會報發行上必要に於る、會報第一號掲載の住所と異なる方に、人になりし未だ届出なき方又は本年他人轉讓の諸君は其住所急御一報被下度候也
大正七年十月

福島縣人會

福島縣人會
Caixa Postal 1317, St. Paulo

移轉廣告

移轉廣告
拙者今般左記の所へ移轉仕候
Ruan Tabatinguera, 89, St. Paulo

眞寫

眞寫
從來皆様の御引立に依り出張撮影體在候處今同左の所に於て開業仕候、從て今後光線は勿論總てに於て一層優良なる眞寫を調製致可候得ば何卒倍舊の御用仰付被下度奉願上候、猶和服にて撮影御希望の方に男女共持合せ有之候

石井一歩

石井一歩
△移轉
產婆 石井クニ
フラザ、ダ、レゾブリカ
聖市 イビランガ街八十五番

朝陽軒

朝陽軒
理髮師 吉村 武
聖市コソダ街

爲換

爲換
日英 一磅 伯貨 一九九・〇四
日英 一圓 伯貨 二九・〇七五

謹告

謹告
來る三十一日ジャルデン、ダ、アラクリマソンに於て例年の通り天長節祝賀會相繼候間當日午後一時まで家族同伴御來會の程奉希望候也但し一名に付會費二ミルレリス(菓子券、酒券引替)
大正七年十月

同胞諸彦

同胞諸彦
發金者 伯國日本人青年會
同 南 米 社
同 日 伯 新聞 社
同 伯 刺 西 爾 時 報 社
在 聖

尋人

尋人
數年前出耕したる債行不明徴兵猶豫の手續をなさぬ爲め國許より再三嚴重なる書面あり、本人の現住所御承知の方は左記へ御一報被下度候

佐々木彌太郎

佐々木彌太郎
Faz. Ota, Barboza
Est. Ourinhos
L. Korobutana

